

真空管プリメインアンプ

# TRV-A88SE

## 使用説明書

平成 21年4月30日 第3版



### 真空管及び回路電圧のバラツキについて (クレーム対象外)

- 1, 12AX7及びKT88真空管の**カソード電流値**の左右のバラツキは10%程度は問題ありません。
- 2, **真空管のヒーターの明るさ**が左右違うものがありますが露出している部分は性能には問題ありませんので左右違っていても差し使いありません。

# Tri

株式会社 トライオード

〒343-0032 埼玉県越谷市袋山609-3  
TEL : 048-940-3852  
FAX : 048-940-3853  
Eメール : info@triode.co.jp

# 安全に正しくお使いいただくために

この取り扱い説明書をよくお読みになり、正しくお使い下さい。特に本書の「安全上のご注意」は必ずお読み下さい。なお「取扱説明書」と「保証書」は一緒に保管して下さい。

## 安全上のご注意

### 「異常時の処理」

- 万一煙が出ているなどの異常な状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ずプラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店または当社のサービス窓口048-940-3852へ修理を依頼して下さい。お客様による修理は危険ですから絶対におやめ下さい。
- 万一シャーシ内部に水や異物が入った場合は、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ずプラグをコンセントから抜いて販売店または当社のサービス窓口048-940-3852へご連絡下さい。お客様によるアンプの開封は危険ですから絶対におやめ下さい。なお上部パネル上に落とした場合は問題ありません。
- 万一本機を落とした場合、このまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ずプラグをコンセントから抜いて下さい。すみやかに販売店または当社のサービス窓口048-940-3852へ修理を依頼して下さい。お客様による内部確認は危険ですから絶対におやめ下さい。

## ご注意（感電について）

このアンプは高電圧（約400Vdc）を使用するため、感電されないよう細心の注意が必要です。絶対に裏蓋を開けたりしないようお願い致します。なお裏蓋を開けた後、内部接触による人体の損傷や火傷などの責任は負えませんので予め御了承ください。

## その他の注意事項

使用時は高温になるため、必ず付属の真空管ボンネットを御使用下さい。特にお子様の手の届かない場所に設置して下さい。

## 保証について

本製品の裏蓋を開け、改造などをされた時点で保証の対象外となりますので御注意下さい。この場合の修理は全て実費とさせていただきます。ただしバイアスの調整は除きます。

## 接続と使用方法

- 1) まず、真空管カバーを外し真空管（KT88のみ）保護用のクッション材を取り除き、再び真空管カバーを取り付けます。  
※真空管カバーは上に引き抜く様にする则取り外せます。取り付けの際はピンと穴を合わせて押し込んで固定します。
- 2) 付属の電源ケーブルを接続します。入力ソース（CD、DVD、MD等のアナログ出力）をINPUT 1, 2, 3ターミナルに接続します。  
※レコード再生には別途**フォノイコライザー（VP-EQ2）**等が必要です。
- 3) OUTPUTターミナルにスピーカーケーブルを接続します。6Ω以下のスピーカーの場合は6Ω端子、8Ω以上の場合は8Ω端子に接続します。
- 4) 接続が終わりましたら電源を入れ、ボリュームを調整してお楽しみ下さい。

# 真空管を交換後バイアス調整をする場合

経験のない方は部品を破損する場合がありますのでご遠慮下さい

(簡単なテスターを準備します)

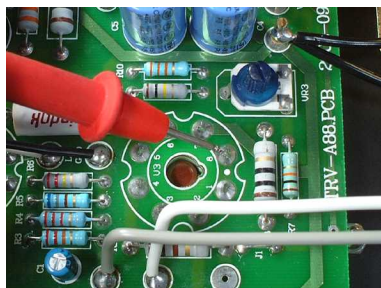
- 1) 電源オフの状態真空管カバーを装着したままひっくり返す。
- 2) 裏蓋をマイナスドライバーで開ける。
- 3) 基板中の左右チャンネルの半固定ボリュームを指でそれぞれ左一杯に回す。



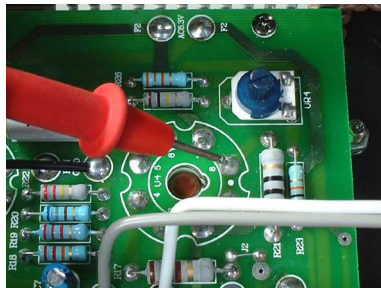
- 4) テスターの黒棒をスピーカターミナルのマイナス端子に接続する。



- 5) テスターのレンジを直流 (DC) 1 V又から10 V位までのレンジに合わせる。
- 6) 電源を入れLEDが点灯している事を確認し5分ほどウォームアップする。
- 7) 左チャンネルから調整しますので、テスターの赤棒をV3の8番ピンにあてて電圧を見ながら、半固定ボリュームVR3を少しずつ右に回しながら0.65Vに合わせる。



- 8) 次に右チャンネルの調整しますので、テスターの赤棒をV4の8番ピンにあてて電圧を見ながら、半固定ボリュームVR4を少しずつ右に回しながら0.65Vに合わせる。



9) 上記の調整を左右3回ほど繰り返し微調整する。

10) 調整が終わりましたら裏蓋を閉じます。

なお上記バイアスは環境により変動致しますので1年に一度くらいは再度調整すると良いでしょう。

※真空管のバイアスは絶えず変動しています、余り神経質にならなくて結構です。電流値が0.6Vの10%程度の範囲であれば全く問題ありません。

## TRV-A88SE仕様

ここに記載されている値は正常に動作している場合の期待値です。よって保証値ではありません。

最大出力 : 1.2W + 1.2W  
S/N比 : 90dB以上  
歪率 : 0.1%以下  
入力感度 : 0.7V (at 100k $\Omega$ )  
出力端子 : 6 - 8  $\Omega$   
周波数 : 20Hz ~ 40kHz +/-1dB

## ヒューズ交換

マイナスドライバーでAC電源ソケット内下側のヒューズホルダーをマイナスドライバー開けます。ヒューズは3.15Aを使用して下さい。

## スペアパーツ

KT88真空管 (中国製)	1ペア	¥16,000	(税別)
12AX7A真空管 (中国製)	1本	¥2,800	
12AX7A真空管 (チェコJJ製)	1本	¥3,800	
サイドウッド	1ペア	¥5,000	